

きずな

2014年 7月31日

NO 989

赤旗井原出張所
井原市井原町103
(TEL 62-6200)



国民平和大行進

(井原・矢掛コース)

7月23日「2014年 国民平和大行進」の網の目行進が井原へ入ってきました。

今年もこの網の目行進は「井原・矢掛コース」です。午前8時45分から井原市役所本庁舎前で出発式を行いました。

先ず三宅生一副市長と上野安是井原市議会副議長から歓迎と激励のあいさつをいただきました。そのあと、森本市議が行進団を代表して市長と議長からのペナントと募金を受取り、副市長、副議長へのお礼を兼ねあいさつしました。

出発式終了後、夏の暑い日差しが照りつける中、石井敏夫氏（元市議）が総指揮者で市役所前を出発しました。約1時間市内を行進し、市役所前に帰ってきました。市役所前で小休止。次のコース矢掛町へ自動車で移動しました。

矢掛町では萩野町議が総指揮者で商店街を行進し、武井副町長以下町役場幹部らが行進団を出迎える中、町役場前の矢掛町農村環境改善センターへ到着しました。

センター内で到着集会を開き、萩野町議が行進団を代表してあいさつ、引き続き副町長と笹井町議会総務文教委員長の歓迎と激励のあいさつを受け、ペナントと募金を受け取りました。

矢掛では冷たいお茶とアイスキャンデーがふるまわれ大変美味しくいただきました。式と行進の様子の一部を写真で紹介します。



出発式で挨拶する三宅副市長



出発式で挨拶する上野副議長



森本市議が行進団を代表し挨拶



井原市役所前を出発



井原精機正門前を行進



矢掛町本陣前を行進



矢掛町副町長以下多くの幹部職員が出迎え



武井副町長歓迎のあいさつ



副町長、笹井委員長からペナントや募金を受け取る

読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

7月28日のしんぶん赤旗日刊紙に衆院選挙制度についての記事が掲載されていました。次に紹介いたします

衆院選挙制度「第三者機関」 座長に小選挙区制推進人物 「改革」の名で民意削る定数削減

通常国会会期末（6月）に日本共産党以外の各党の賛成で設置が議決された伊吹文明衆院議長の諮問機関「衆議院選挙制度に関する調査会」の初会合が、8月上旬に開かれる予定です。調査会は議員以外の有識者で構成する「第三者機関」と位置付けられ、座長には佐々木毅・元東京大学総長の就任が報じられています。しかし、佐々木氏は政財界と一体になって衆院選挙制度に民意をゆがめる小選挙区制を導入し、「二大政党」づくりを推進してきた人物です。

「政治改革」主導

「第三者機関」は、現行の小選挙区制を維持したうえで議員定数削減などを議論し、議長に答申するとしています。小選挙区制の害悪を国民に押し付けた人物を座長にすえ、さらに「選挙制度改革」の名で民意を削る定数削減など二重に許されません。

佐々木氏は、海部内閣に小選挙区比例代表並立制を答申（1990年4月）した第8次選挙制度審議会に委員として参加しました。その後も、財界人、学識者らでつくる「新しい日本をつくる国民会議」（21世紀臨調）の共同代表として、小選挙区制下での「マニフェスト（政権公約）選挙」の導入などの「政治改革」を主導し、「二大政党」づくりを推進してきました。

2012年には「政治基盤の再整備」を目的に、財界人らと「日本アカデメイア」を発足させ、共同塾頭に就任。首相、閣僚の国会出席の制限など「国会改革」も提言してきています。

設置に道理なし

今回の「第三者機関」は、設置そのものに道理がありません。

衆院選挙制度をめぐってはかねて、1選挙区1人選出の小選挙区制のために生じる「1票の格差」の拡大などが大きな問題となりました。

2011年10月から全政党参加の実務者協議が行われ、昨年6月には「よりよい選挙制度を構築する観点から、現行並立制の功罪を広く評価・検証し、抜本的な見直しについて、各党間の協議を再開し、結論を得る」と全党が合意しました。

ところが、今年に入って一部の党が談合し「第三者機関」設置を提起。全党協議を打ち切って多数決で衆院議院運営委員会で議決したのです。全党合意に立ち戻って検証作業を行うべきなのに、それを一度も行わないまま「第三者機関」へ丸投げすることは、政党・国会の責任放棄です。



森本市議の無料なんでも

生活相談

とき 毎週火曜日 午前10時～12時

ところ 共産党市議事務所 井原町103

でんわ 62-6200 (党市議事務所)

62-6061 (森本ふみお宅)

これまで月曜日だった「生活相談」日を2014年8月から火曜日に変更させていただきました。

この「きすな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見ることができます